

**総括質問** 第2回定例会・本会議 (2/10.14.15)

本会議録画中継をホームページからご覧いただけます!

市議会HP 議会中継>本会議録画配信 >令和4年第2回定例会

※紙面の都合上、1人2問以内で掲載しています。  
※質問内容は、発言議員本人の提出によるものです。

**発言項目**

◎発言順に掲載。太字は下で紹介している質問を含みます。

- 八條範彦 (自民党・市民クラブ・安佐南区)
  - 中央図書館等の移転
  - 官民連携のまちづくり
  - 入札制度
  - 学校給食
  - 学校教育
- 三宅正明 (自民党・保守クラブ・安芸区)
  - 福祉政策と新型コロナウイルス感染症対策
  - まちづくりと災害対策
  - 文化政策と中央図書館
  - 地域コミュニティと行政の関わり
- 並川雄一 (公明党・中区)
  - 成年後見の更なる利用促進
  - 中央図書館、こども図書館及び映像文化ライブラリーの集約化・移転
  - 吉島老人いこいの家及び吉島屋内プールの集約化・移転
  - 長期未払金の整理
  - 保育士の配置基準の緩和等
  - 行政にしかできない終活の支援
  - 養育費確保の支援
  - 校舎外のトイレの洋式化
- 馬庭恭子 (市政改革ネットワーク・中区)
  - コロナ対策全般
  - E B P M「証拠にもとづく政策形成」
  - 中央図書館等の移転
  - 成人年齢の引き下げに伴う消費者教育等
  - 適正な投票所設置
  - 重度精神障害者通院医療費助成

**中央図書館等の移転**

**問** 市は、なぜ中央図書館等をエールエールA館に移転することに決めたのか。

**答** エールエールA館は、中央図書館等に必要ない条件に最も適合するとともに、建設費の面でも、中央公園内での建て替えと比べ、負担軽減になる。

また、広島駅に直結予定のため、新たな利用者層の呼び込みにもつながり、図書館本来の学習機能や調査研究機能をより多くの方に利用してもらえることで、中央図書館としての機能が



が今まで以上に発揮されるものと考えている。

**問** 五日市地区学校給食センターの土地と建物の所有者は誰か。その土地の取得等に係る費用の市と事業者の負担割合はどうか。

**答** 同センターの所有者は、受託者である広島アグリフードサービス(株)であり、土地の取得や建物の整備に係る費用も同社が負担している。本市は、このうちの建物整備費について、学校給食に使用する時間および面積から算出した使用割合に応じ、



おおよね7割をおおむね7割を委託料の中で支払っている。



八條 範彦  
自民党・市民クラブ

**給食センター**

**こども図書館等の移転**

**問** 図書館等の基本設計・実施設計・不動産の鑑定評価に関する予算計上は早すぎるのではないかと。また、1万3千名を超える署名と市民意見をどう受けとめるのか。

**答** 中央公園内の公共施設の集約化等については、取り組みを延期していた期間はあるが、平成23年から検討している。令和7年に広島駅ビルの開業などが計画されており、図書館の開館時期を合わせることで利便性も高まることから、

同計画内容の議論を深めていただくため、今定例会に予算案を提出した。反対意見が多数あることは一つの課題と受けとめ、よりよい施設となるよう検討していく。



並川 雄一  
公明党

**吉島老人いこいの家の存続を**

**問** 同施設は、吉島屋内プールと集約化されるが、新吉島屋内プール内には、高齢者が無料で利用できる集会施設や公衆浴場組合に配慮した無料の浴室等を設置すべき。また、これらの対応ができるまで、同施設を存続すべき。

**答** 同施設の再整備にあたっては、当初から浴室存続の要望があった。市浴場組合と協議を重ねたが、一般公衆浴場の営業を圧迫する無料の浴室設置は認められないとのことであった。地元には浴室は設置しないことを説明し、了承を得た。集約後の施設は、地元

の要望を踏まえ整備する。

**中央図書館等の移転**

**問** 移転計画が出されて3カ月。拙速に事業費の一部の予算が出されているが、予算措置された後でも、その後の議論の結果で計画を撤回することはあり得るのか。

**答** 本定例会に中央図書館等の再整備に必要な予算を提案しているが、これは議会において議論を深めていただくためのものであり、本市としては、中央図書館の再整備を皮切りに、中央公園内の各施設の移転・集約化を着実に進めていきたいと考えている。



中央図書館

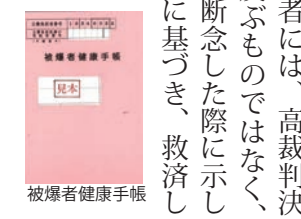


吉瀬 康平  
日本共産党

**黒い雨被害者を救え**

**問** 市と県は、黒い雨裁判の高裁判決に反する11の疾病要件を入れた厚労省の新たな認定指針の骨子案に同意した。敗訴した行政側が判決を受け入れ、確定したのに、その判決に従わなくてもいいと市長はお考えか。

**答** 本市は、高裁判決に従い、53名の原告全員に**被爆者健康手帳**を交付した。原告以外の黒い雨体験者には、高裁判決の効力は及ぶものではなく、国が上告を断念した際に示した総理談話に基づき、救済していくべきものと考えている。



被爆者健康手帳

**心ひとつで脱炭素化を!**

**問** 脱炭素化に向かう社会・産業構造の変化は、中長期的に地場産業や雇用に大きな影響を及ぼす。広島市内の自動車関連産業の中小企業を含めた事業者の継続性について、本市はどのように対応しようとしているのか。

**答** 令和4年度から、本市、マツダ、地域の中小企業とで協賛体制を構築し、一丸となった取り組みができる環境を醸成したい。その上で、技術力の向上、経営基盤の確保、従業員問題などに係る諸課題の解決についてしっかりと支援するため、国や県レベルでの関連対策と連動した確かな対策を協議体として講じられるようにしていきたい。



岡村 和明  
市民連合

**レッドゾーン居住者への対応**

**問** 本市は、これまで土砂災害特別警戒区域の居住者に対して手厚く支援してきたが、同区域内の建物・土地は、売れにくい状況にある。同区域内にある水道施設の安全確保と、隣接住民への対応はどうか。

**答** 毎月の水道施設の巡視点検に加え、のり面の安定度調査を5年に一度実施することなどで、のり面の安全性を確認する。そして、対策を要する施設については、順次整備する。同地域内に居住し、不安に思われている方に対しては、水道施設の安全性について、丁寧に説明を行っていく。

**問** 市が50年以上掛けて市民とともに作ってきた文化的空間を壊してでも、中央図書館を移転させることで生まれる、市の文化政策における新たな価値と

**答** 図書館は、地域の情報拠点として市民の文化度を向上させていくためにも重要な役割を担っている。中央図書館を、平和文化の情報拠点として広島駅周辺地区に整備することで、都心の東西の核に文化的機能が配置されることになり、多くの市民や来訪者が平和文化を学びやすくなる。これを通じて、都心全体での文化度を高めるとともに、平和への思いを共有する平和文化を市内外へ広めていきたい。

**問** エールエールA館への移転案の発案者は誰か。また、この場所への移転を決めた決定的な根拠は何か。

**答** この移転案は、広島駅周辺地区整備を所管する都市整備局と中央図書館再整備を所管する市民局とが協議を進めていく中で出てきたものである。

**問** 県内の他市町は令和3年4月から本制度による助成を開始しているが、本市だけが令和4年2月からであり、不公平・不平等である。条例改正し、令和3年4月にさかのぼって償還払いできるようにすべきでは。

**答** 助成開始を令和4年2月か設を採っていたところ、広島駅南口開発(株)から要望書が提出され、周辺の民間施設と比較・検討した結果、図書館等に必要ない条件に最も適合する。また、償還払いは重度精神障害者の方に新たな負担をかけることから、エールエールA館を移転先とした。